

文化表現学科 カリキュラムマップ（2025年度以降入学者）

レベル 学科が想定するレベル（難易度）を示しており、数字はナンバリングコードの「レベルコード」に対応しています。レベルの数字は履修年次とは異なります。履修登録可能な年次は、開講科目表のとおりです。

レベル（1）導入・入門	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	レベル（2）基礎	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
基礎科目 学科の学び 導入ゼミ 欧米文化表現入門 日本・アジア文化表現入門 音楽・身体表現入門							基礎ゼミ						
基礎科目（一部発展科目） 文化・文学・芸術 イギリス研究入門 アメリカ研究入門 イギリス文学史 アメリカ文学史 フランス研究入門 ドイツ研究入門 スペイン語圏研究入門 中国研究入門 韓国研究入門 欧米芸術入門 演劇論の基礎 古典読解の基礎 文学理論の基礎													
言語・文化 東アジアの文字と文化 コミュニケーション文化論 英語学入門 Pronunciation Clinic Academic Skills Thought and Expression in English 英語の歴史 日本語学概論 文章表現法 日本古典文学概論 日本近現代文学概論 演文学概論 書道													
音楽・身体表現 欧米芸術音楽 日本の音楽 欧米音楽入門1（理論） 欧米音楽入門2（ソルフェージュ） 欧米音楽入門3（実践） 音楽とクリエーション入門 音楽とビジネス入門 アジアの身体表現													

※科目名に色が付されているものは「主要授業科目」です。「主要授業科目」とは学位を取得するにあたり履修が望ましい科目です。ただし、全ての科目が卒業に必要な単位ではありません（p.130「卒業に必要な単位数」参照）。

DP ディプロマ・ポリシー：各科目の該当するDPについては、レベルごとの①-⑥の列に色付けで示しています。

【基礎的な知識・技能】

① ヨーロッパ・アメリカ・アジア・日本を対象とし、多様な価値観が共存する国際社会における文化表現に関する学際的・総合的な学びを通じて、グローバルな視点から文化表現の専門的知識が身に付いている。

② 国際社会で必要となる多様な言語運用能力、及び専門知識を背景とした日本語による正確な読解力と適切な表現力が身に付いている。

【思考力・判断力・表現力等の能力】

③ 多様な文化及びその表現を理解することにより課題を発見し、そこから新しい価値を創造する力が身に付いている。

④ 芸術・言語・文学・音楽・身体各領域における創作・表現・情報発信能力が身に付いている。

【主体性・多様性・協働性】

⑤ 文化表現への強い関心と意欲を持ち、異なる文化への理解とともに国際社会の諸課題の解決に向けて主体的に取り組む力が身に付いている。

⑥ 文化表現に関する学際的・総合的な学びを通して、グローバルな視点から考え、国内外の社会の発展に主体的に貢献するための基礎的な力が身に付いている。

レベル（3）発展	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	レベル（4）卒業論文等	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
専門ゼミ 専門ゼミⅠA 専門ゼミⅠB							専門ゼミⅡA 専門ゼミⅡB 卒業研究						

発展科目 文化・文学・芸術 英語テクスト分析													
言語・文化 通訳（英語・日本語） 翻訳（英文和訳作成） 日本語学演習 日本語学特講 日本古典文学特講 日本近現代文学特講													
音楽・身体表現 欧米音楽3（実践上級） コンサート 音楽とクリエーション応用2（プロダクト） 音楽とビジネス応用 声の表現1（演技） 声の表現2（アナウンス）													